

研究プロジェクト名

経済・金融再生のための 金融システム改革の研究

How should we reform our financial system in order to revitalize Japanese economy and financial functions?



経済学研究科・助教授

家 森 信 善
Nobuyoshi Yamori



やもりのぶよし プロフィール

1986年 滋賀大学経済学部 卒業
1988年 神戸大学大学院経済学研究科博士課程（前期課程）
修了（経済学修士）
1996年 博士（経済学、名古屋大学）

研究経歴

1989年 姫路獨協大学経済情報学部 助手
1990年 米国コロンビア大学 客員研究員
1991年 姫路獨協大学経済情報学部 専任講師
1994年 姫路獨協大学経済情報学部 助教授
1995年 名古屋大学経済学部 専任講師
1996年 名古屋大学経済学部 助教授
1998年 米国コロンビア大学ビジネススクール 客員研究員
1999年 米国サンフランシスコ連邦準備銀行および
米国コロンビア大学ビジネススクール 客員研究員
2000年～ 名古屋大学大学院経済学研究科 助教授

研究分野

金融論、銀行論、マクロ経済学、日本の金融機関および日本の金融市場
の実証分析。

受賞歴、レクチャーシップなど

1999年 生活経済学会 奨励賞
2001年 金融ジャーナル賞
2001年 全国信用保証協会連合会
創立50周年記念懸賞論文・優秀賞

融システム問題を集中的に分析し、金融システム
問題の早期解決を目的にしています。プロジェクト
の問題意識と概要をもう少し詳しく説明します。

バブル崩壊以降、日本経済の低迷は10年を越え、
「失われた10年」が、「失われた20年」になること
が真剣に心配されるようになってきました。単なる
需要の刺激による景気対策は一時しのぎにしか
ならず、それも巨額の財政赤字の累積により、限
界に達しつつあることはあきらかです。今や、経済
構造を抜本的に改革しなければ経済再生が不
可能である点は衆目の一致するところだと思われ
ます。

実は、この経済再生の最大の障害になってい
るのが、不良債権問題に代表されるような金融シ
ステム問題です。本来なら2003年4月から完全解
禁されるはずであったペイオフが、金融システム不
安から2度目の延期を余儀なくされたことに現れ
ているように、依然として金融システム問題は解決
の目途すら立たないのが現状です。（ただし、ペイ
オフ解禁の是非については、私は政府の見解に
賛成していません。専門論文の形で既に公開
していますが、一般に向けても説明するために、目下、
著書を執筆中です。）

また、小泉改造内閣発足後、不良債権処理の
加速について精力的な議論が行われていますが、
不良債権の処理は、セーフティネットの整備だけで
はなく、産業再生につなげる努力が伴わなければ、
国民的な合意が得られないことも明かです。つ
まり、金融不安を解消するだけにとどまらず、産業
再生を実現するような金融システム改革（銀行シ
ステムの金融仲介機能の回復と、直接金融シ
ステムの機能強化が大きな柱になる）が喫緊の政
策課題なのです。

そこで、本研究プロジェクトでは、金融再生だけ
ではなく経済再生をも含めた幅広い視点から、わ
が国の緊急の課題である金融システム改革のあ
り方について検討し、学術的な貢献はもちろん、
国や地方自治体の政策形成に寄与することを目
的にしています。独自の研究成果をもとに発言し
ていくことで、望ましい改革が行われるように世論
を喚起したいと考えています。

もとより微力ですが、名古屋大学の諸先生、地
域の金融関係者のご協力を得ながら、所期の目
的を目指して、全力で取り組む所存です。

大学院経済学研究科では金融論を担当して
います。金融論はお金にまつわる経済現象を研
究する学問ですが、対象領域を大きく分けると、
マクロ金融政策（たとえば、デフレからの脱却のた
めに日本銀行は何をすべきか）、金融システム（不
良債権問題や、銀行や保険会社の健全性の問
題など）、ファイナンス（企業の資金調達やコーポ
レートガバナンス、資本市場の問題など）、国際金
融論（外国為替レートや国際収支の問題、アジア
通貨危機のような国際的な金融不安の問題）な

どがあります。

いずれも、新聞紙上をにぎわす大変重要な問
題ですので、聞いたことがあるという方も多いと思
います。われわれ経済（金融）学者は、こうしたチ
ャレンジ的な諸問題に全力で取り組んでいるの
ですが、いずれの問題も解決されずに、むしろ深
刻化しています。それで、「日本の経済学者は何
をしているのか」と叱られることも少なくありません。

私が提案したプロジェクト「経済・金融再生の
ための金融システム改革の研究」は、このうち金

